

2017年度 「応用演習」 ミニシラバス (国際理解学科)

担当者名	Cary Duval
授業のテーマ	Culture and the Environment
授業の内容 (200字程度)	<p>The purpose of this class</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. To understand various cultures and learn to respect their ideas and values. 2. To learn the various issues about minority and native cultures and how they approach the environment and endangered animals. <p>This class will focus on how culture affects the view people have on the environment, endangered species and development. We will look at how the cultures of certain minorities and how they may be protected by special laws which allow them to keep their cultural traditions alive and how they may hurt the environment. We will discuss the rights of minority people over the laws concerning endangered animals and environmental damage. This class will focus on reading articles prepared by the teacher. The articles will be between 400-1000 words. Although this course will focus on reading and discussion, Although this course will focus on reading and discussion, each student will have to write 3 opinion papers and make 2 short presentations as part of their grade.</p>
サブテキストなど	To be assigned
お勧め対象	Students interested in improving their English skills and improve their understanding of inter-cultural communication issues concerning the environment and protection of endangered species.

担当者名	生田 祐子
授業のテーマ	English Education for Global Peace: 国際理解と平和を考える英語教育とは？
授業の内容 (200字程度)	ユネスコ憲章の前文に「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりで築かなければならない」とあり、この「人の心の中に平和の砦」を築くために外国語教育と国際理解教育との連携が、重要な役割を果たします。この授業では、世界で起こっている大事な問題を自分事として捉え、問題を解決に導くコミュニケーターを育てるための英語教育について考えます。模擬国連の練習も取り入れ、わかりやすい英語で話すコミュニケーション力の習得も目指します。
サブテキストなど	みなさんの英語習熟度に合わせ、タイムリーなトピックと教材を初回に決める予定です。国際紛争に関する英語の映画も使用し、リスニング力と「英語字幕」を読みこなす訓練もする予定です。
お勧め対象	教育分野（英語・日本語教師）や国連などの国際機関、特に国際教育協力の分野に関心があり、英語が好きな学生。大学英語模擬国連大会や国連研修に参加したい学生。

担当者名	林 薫
授業のテーマ	国際情勢や国際関係を英語で学ぶ。
授業の内容 (200字程度)	難民、テロ、過激派、環境と持続性など国際関係は大きな問題を抱えながら急速に変化しています。世界の人々と、これらの問題について英語で情報を得て、英語で話し合うことができることは「世界市民」としてきわめて重要なことです。授業では、英語文献を読むことにより1年生の国際理解論で学んだ国際関係のより深い理解するとともに、普通に使われている英語でディスカッションができること、その際のマナー (political correctness: 言っていないこといけないこと) を身につけることなども目指します。
サブテキストなど	教材は Economist, Foreign Policy, Foreign Affairs などの世界中で読まれているジャーナルや雑誌に掲載された論文やインターネットに掲載されたニュース記事が中心ですが、テーマは学生が主体的に選びます。2016年度は「幸福とは何か」をテーマにしました。BBCのニュースなども活用します。
お勧め対象	英語で仕事、ボランティア、その他社会的活動にかかわることを目指している学生。広く国際情勢、国際関係に興味を持っている学生。

2017年度 「応用演習」 ミニシラバス (国際理解学科)

担当者名	本浜 秀彦
授業のテーマ	小説・映画・ミュージアムで学ぶ歴史都市 (Kyoto・Kamakura・Edo/ Tokyo) の文化—国際日本研究への招待—
授業の内容 (200字程度)	海外の研究者が日本について研究する、いわゆる「日本研究」の成果を“逆輸入”し、それを日本における学問的な文脈で再検討する作業をふまえながら、現在の日本の大学生が必要とする日本の歴史や文化を学びます。具体的には、京都、鎌倉、東京/江戸を描いた・語ったメディアを分析、検証し、歴史都市の文化に関する知識や理解を深める一方、三都に向かうその視線を、受講生それぞれの地元の歴史・文化への関心とも交差させます。
サブテキストなど	テキストは特に定めず、プリントを配布します。ただし、「江戸東京博物館 (東京・墨田区) および浅草散策」か「鎌倉・江ノ島めぐり」(あるいはその両方) のフィードワークを、学外授業として適当な土曜日に振り替えて実施する予定なので、心してください。
お勧め対象	<ul style="list-style-type: none"> 日本の歴史や文化に関心のある学生 「日本」を英語で発信したいと考えている学生 小説、映画などのメディアに関心のある学生 英語をしっかりと勉強したいという意志・意欲のある学生 (英検2級程度はないと困るような英文をいっぱい読みます！)

担当者名	山田 修嗣
授業のテーマ	私たちの「日常」を把握しよう —考え、語りあい、理解する応用演習—
授業の内容 (200字程度)	私たちの「日常」を把握して、さらに関心を深めるため、参加者どうしで学びあう時間とします。日常の出来事は、地域や言語の壁なく発生します。ゆえに、日常の理解には、さまざまな見解を提示し、検討する必要があります。この前提で、「日常」を自分たちなりに発見して、整理する(言い換える)作業をします。把握する日常(テーマ)は参加者と相談して決めます。初回に、今、気になることを提案して下さい。
サブテキストなど	講義時に説明・紹介します
お勧め対象	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りのできごとや社会に「なぜ？」と疑問をもつ人 他者との討論を通じた「わかる！」を楽しみたい人 概念、理念、理論といった言葉に魅力を感じる人 文献やデータを集め、読み進めることに興味をもつ人

担当者名	渡邊 暁子
授業のテーマ	外国語文献をもとに宗教と暴力をめぐる諸問題を考え、理解する
授業の内容 (200字程度)	現在、世界では様々な暴力が問題となっています。そこに宗教はどのように関わっているのでしょうか。本授業では履修者はまず指定の文献から関心のあるテーマを選び、それについて調べ、グループ発表と議論を行います。具体的には、諸宗教と暴力、ジェノサイド、テロ、紛争、中絶、殉教、もてなし、寛容、共生などのテーマがあります。世界を理解する手立てとして外国語文献を使い、話し合いを通じて異なる視点から考えを深めていきます。
サブテキストなど	Juergensmeyer, M., M. Kitts, and M. Jerryson, <i>The Oxford Handbook of Religion and Violence</i> (2013). テキストは授業中に配布します。
お勧め対象	国際協力、地域研究、社会の仕組みや文化や宗教などに興味のある学生 周囲と協力して物事を進めていく意思のある学生